



このコーナーでは、九州一の安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



地域安全安心活動モデル地区
地域の安心安全は住民で守る
パトロール活動を実施



小林管内は、県内でも空き巣や忍び込みなど侵入犯が多く、防犯のためには施錠が必要です

3月12日、地域安全安心活動モデル地区に認定されている真方一区の住民が、地域の防犯パトロール活動を行いました。地域住民や警察など約40人が参加。参加者は3班に分かれて地域の住宅を訪問し、無施錠の家に施錠を呼びかけるカードを設置しました。同区の齋藤保夫区長は「この地域で空き巣が数件発生し、不安の声があった。これを機に、外出する際は施錠をするという認識を深めてほしい」と呼びかけていました。



市民活動支援センターからのお知らせ
小林市市民活動支援センターをご利用ください。



昨年度は、市民活動支援センターで活動運営に役立つ講座を開催しました。「伝える文章の作り方」、「まちの環境保全と市民活動」、「食からまちづくり、地域おこし」、「地域コミュニティブランドづくり」や「火山災害に備える」など、活動グループの質の向上を目指すものから、協働のまちづくり・地域おこしに光を差す講座まで、多様な内容でした。

本年度も市民の活動に役立つ講座開設のお手



吉都線100周年記念事業
観光列車「海幸山幸」を
小林駅でおもてなし

3月8日、観光列車「海幸山幸」が小林駅に一時停車し、吉都線100周年記念事業実行委員会のメンバーや小林幼稚園の園児がおもてなしを行いました。列車が到着すると、園児が元気いっぱいのお出迎え。ホームでは、特産の水、米や米粉パンの振る舞いのほか、イチゴやお菓子の販売を実施。訪れた乗客を喜ばせました。同委員会の吉村秀昭会長は「今後も活動を通じて、吉都線を盛り上げたい」と話していました。



元気いっぱいかわいらしい小林幼稚園の園児のダンスに、乗客は笑顔と手拍子で応えました

伝いをしていきます。

市民活動支援センターに「団体登録」をすると、各種講座や講演会などの案内をお届けします。また、皆さんの活動紹介もしていきますので、市民活動支援センターを活用して、自分たちの活動情報発信や役立つ情報の収集で、楽しい活動にしてください。

◆ 問・NPO法人エコワールドきりしま
TEL 27-3177 (担当: 迫尾)

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して



も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校2年生海蔵楓寧さんが市の活性化を願い作成したものです。市の自然(花、星、水、蛸)がモチーフになっています。



特定非営利法人設立認証
新たなNPO法人が発足
市民後見センターみやざき



九州一安心安全なまちづくり
早稲田マニフェスト研究所と
まちづくりについて意見交換



同様の活動を行う団体で、NPOの認証を受けたのは、同センターが県内で初めてとなります

2月26日、「市民後見人」の養成などを行う市民後見センターみやざきが、特定非営利法人の認証を受けました。3月1日に行われた認証状交付式で、橋西桂子理事長が市長から認証状を受け取り、「認知症や一人暮らしの高齢者が増えている中、市民後見人の必要性は高まっており、その取り組みを支援していきたい」とあいさつしました。市民後見人とは、弁護士などの専門職による後見人ではなく、一般市民による成年後見人。同センターでは、市民後見人養成のためのフォーラム、講座や調査を行っていきます。

2月18日と19日、早稲田大学マニフェスト研究所の北川正恭所長・中村健研究員が本市を訪問し、「協働により九州一安心安全なまち小林市」をめざす取組みについて、須木区・野尻町区の地域協議会の委員、地域支援員、地域担当職員、市議会議員、協働のまちづくり推進委員、区長や市職員などに対して、報告と検証を行いました。北川所長は「この取組みは、すぐに成果が表れるものではないが、地道に継続していくことと掲げた目標を達成するために最大限の努力をすることが重要である」と総括しました。



「協働により九州一安心安全なまち小林市」を目指す取組みは、本年度も継続して進めてまいります